

東日本大震災からの復興まちづくりと 被災者を支える地域包括ケアの展開

石巻市長 亀山 紘



【石巻市地域再生計画の3つの柱】

1. 津波復興拠点を核とした地域包括ケアの展開

仮設住宅から公営住宅等へ住まいを移す被災者等を見守る次世代型地域包括ケアの推進

(石巻駅前の医療機関・福祉施設を拠点)

2. かわまちづくりと連動したにぎわいと安らぎのある、歩いて暮らせるまちづくりの推進

① 中心市街地の商業・観光拠点づくり

旧北上川のキーポイント「中央二丁目11番街区」における生鮮マーケットをはじめとした商業施設の整備

② 被災元地活用による安らぎのあるまちづくり

定住、交流人口の拡大につながる復興祈念公園、中瀬公園をはじめとした公共施設の整備

3. 文化芸術活動の推進による人との豊かなふれあいと、歴史的資源を活かした安らぎのある空間づくりの推進

複合文化施設における文化芸術等の発信・創造・継承や歴史的建造物の保存整備、観光資源としての活用などを通じて住民が潤いと誇りを取り戻し、復興を実感できる心豊かな生活の実現

1. 津波復興拠点を核とした地域包括ケアの展開

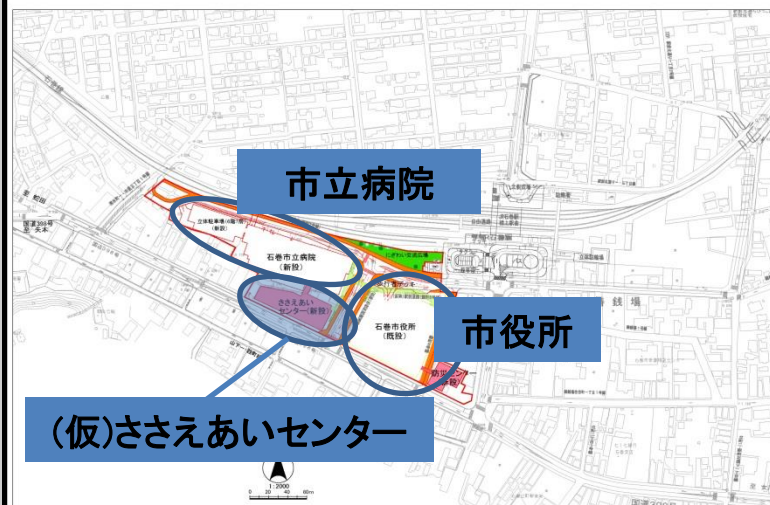
【石巻駅前における医療機関・福祉施設の拠点整備】

【石巻市立病院の移転新築】

建築面積：4,706㎡(病院棟のみ)
延床面積：23,920㎡(病院棟のみ)
病床数：180床(一般140床・療養40床)
診療科：内科、放射線診断科、外科、麻酔科、
整形外科、リハビリテーション科



【(仮)ささえあいセンターの整備】



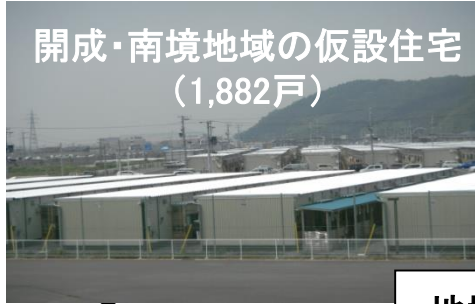
- ◎市立病院に隣接・連結することで医療との連携強化
- ◎市役所庁舎と隣接・連結することで行政との連携強化
- ◎災害時には福祉避難所としての機能を発揮

平成27年度：設計着手

「新しい東北」先導モデル事業選定

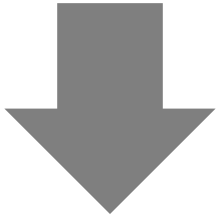
被災者を最後のおひとりまで支える次世代型地域包括ケアの推進

石巻市の仮設避難者 5,759戸
12,730人
(H28. 6月末現在)



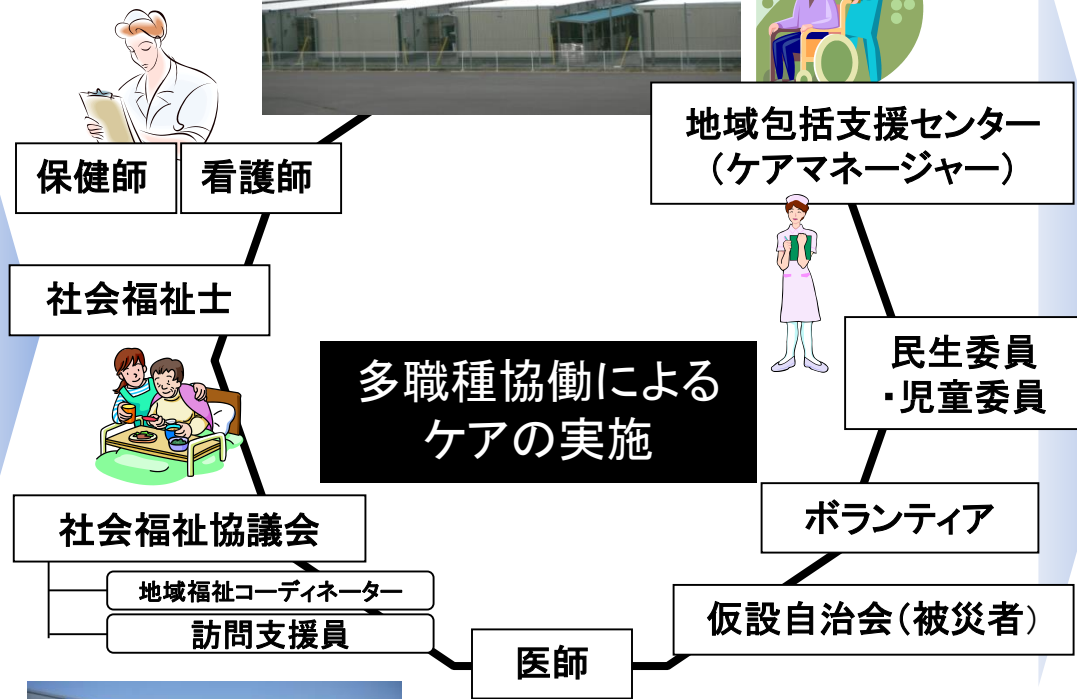
うち仮設住宅 3,360戸
7,162人
みなし仮設 2,399戸
5,568人

仮設住宅生活
の長期化



入居する高齢者、
障がい者等の心身
の健康悪化

若年入居者も含め
た引きこもり、生活
不活発病の増加



石巻市第6期
介護保険
事業計画
へ反映

(仮称)ささえ
あいセンター
で地域包括
ケアを本格展
開

被災者に重点を置
いた心身のケア等
を実施



石巻市立病院開成仮診療所
(在宅医療連携拠点事業の指定)



(※)
石巻市立病院開成仮診療所長の長純一医師が
石巻市地域包括ケアセンターの主導的役割を担
う。長医師は、農村医療・地域医療のメッカ、長
野県の国保川上村診療所長などを歴任し、佐久
総合病院の小海診療所長から現職へ転身した
地域医療のスペシャリスト。

「新しい東北」先導モデル事業選定

被災者を最後のおひとりまで支える次世代型 地域包括ケアの推進

ささえあい
センター
(仮称)



◆北上地区

- ・地域包括支援センター
- ・保健センター「ひまわり」
- ・市立橋浦診療所
- ・高齢者生活福祉センター



◆雄勝地区

- ・地域包括支援センター
- ・特養「雄心苑」
- ・市立雄勝診療所

◆河北地区

- ・地域包括支援センター
- ・民間診療所
- ・介護事業所

◆牡鹿地区

- ・地域包括支援センター
- ・市立牡鹿病院
- ・特養「清心苑」
- ・保健福祉センター



介護保険制度を活用した
「下駄ばきヘルパー」を離島などで実施

田代診療所

網小医院
デイサービスセンター
高齢者生活福祉センター



2. かわまちづくりと連動したにぎわいと安らぎのある、歩いて暮らせるまちづくりの推進

中央二丁目7番地区(松川横丁)



【計画内容】
 区域面積：約0.06ha
 事業費：約1.9億円
 ※優良建築物等整備事業
 延床面積 約660㎡
 主な用途 住宅(4戸)、店舗

◎平成27年9月 事業完了
 H27.9.27 グランドオープン

中央一丁目地区区画整理



【計画内容】
 区域面積：0.5ha 事業費：33.9億円
 延床面積：8,530㎡
 主な用途：住宅79戸、店舗、駐車場、
 高齢者生活支援施設

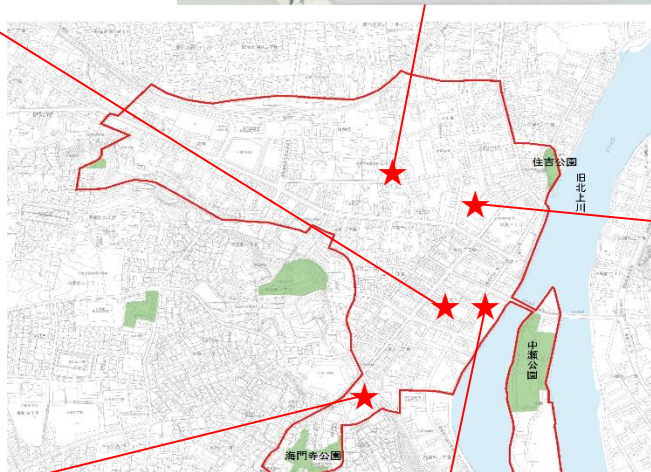
◎平成29年度完成予定

立町二丁目5番地区



【計画内容】
 区域面積：約0.3ha
 事業費：約18.2億円
 延床面積：約5,720㎡
 主な用途：住宅(53戸)、店舗、駐車場、
 高齢者福祉施設

◎平成28年8月 建物竣工(予定)



中央三丁目1番地区



【計画内容】
 区域面積：0.5ha
 事業費：31.9億円
 延床面積：11,150㎡
 主な用途：住宅77戸、店舗、駐車場、

◎平成28年1月 建物竣工

中央一丁目14・15番地区



【計画内容】
 区域面積：0.5ha 事業費：33.9億円
 延床面積：8,530㎡ 主な用途：住宅79戸、店舗、駐車場、
 高齢者生活支援施設

◎平成28年9月 建物竣工(予定)

中心市街地の商業・観光拠点(生鮮マーケット)の整備



前回フォローアップ
までの主な経過

【平成27年4月:第2回運営会社設立準備委員会】

◎代表取締役候補決定(後藤副委員長)

【平成27年12月:運営会社「(株)元気いしのまき」設立】

◎設立時資本金1,000万円 → 3,000万円まで増資公募中(H28年4月~7月)

◎生鮮マーケットの民設民営に向け、建設財源を確保(H28経産省補助採択)

【今後の予定】

◎H29年5月のオープンを目標に、設計建設・マネージャー募集・開業準備を推進

◎マーケット運営に留まらず、石巻の地域商社として、地場産業の振興に貢献

3. 文化芸術活動の推進による人との豊かなふれあいと、歴史的資源を活かした安らぎのある空間づくりの推進

かわまちづくりと一体的に賑わいのある水辺空間を創出するために、かわまち交流館（ギャラリー等）を整備するとともに、旧かんけい丸商店や旧石巻ハリストス正教会等との連携を強化し、歴史と文化が薫るまちづくりを推進する。

【かわまち交流エリア】



【旧石巻ハリストス正教会教会堂の保存整備・活用】



明治13年石巻市千石町に建設されたもので、現存する木造教会堂建築としては日本最古。現在移築のため解体、中心市街地活性化事業に合わせ復元予定。

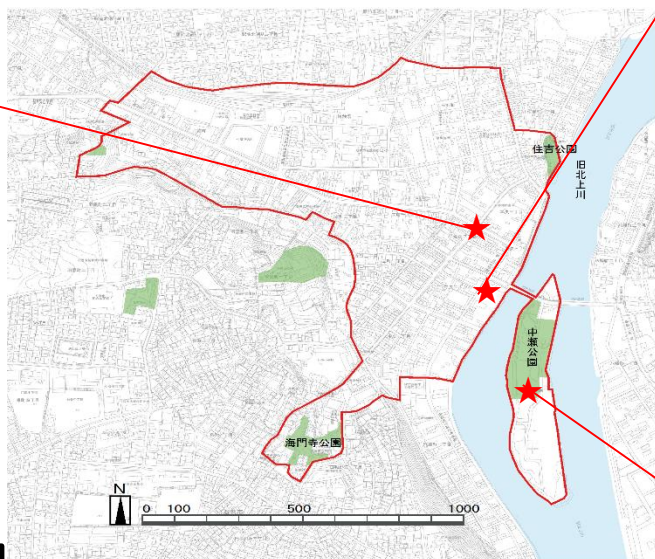
- ◎平成28年度完成予定
- ◎文化財を活かした地域活性化事業を検討

【旧かんけい丸商店の保存整備・活用】



昭和5年建設、木造3階建ての洋風建物で、石巻市最初の百貨店。今後、中心市街地活性化事業に合わせ、被災し解体された石巻文化センターの收藏品等を複合文化施設のサテライトとして展示していく予定。

- ◎平成28年度完成予定
- ◎文化財を活かした地域活性化事業を検討



【中心市街地エリア】

震災から得た教訓をもとに、今あるまちの良いところを活用しながら必要に応じて整備や拡充を進め、そこに住む人々や観光で訪れる人たちが安心して訪れることができ、暮らすことのできる空間づくりを目指します。